



佐々木 僚平 議員

一問一答方式

新型コロナウイルス 集団的感染拡大

市長 年明け以降第六波の感染、県や他医療機関の応援で沈静化

問.....

新型コロナウイルス新規感染、教育や高齢施設の、件数と現場の状況は。

答 (総務企画部長) : 2集団感染は教育関連7件、職場関連1件、高齢施設関連1件。警戒レベルを5段階で設定、感染状況に応じた対応。当該施設、中部保健所と連携し、学校や教育施設において臨時休業を実施した。

問.....

当市における感染の要因は。施設従業員感染、自宅療養の支援は。

答 (市長) : 県の統計家庭内感染が5割、学校や教育保育施設職場9施設、スポーツ活動約4割、飲食1割。自宅療養者の支援として、岩手健康観察サポートセンターが24時間体制の相談に応じている。血中酸素濃度測定器パルスO₂

問.....

PCR検査の現在の取り組みは。

答 (市長) : 診療検査医療機関等として六医療機関が県のPCR検査を無料受検として取り扱っている。市内4つの医療機関が登録している。

Yメーカーの貸し出しや生活用品等の購入を支援する。

その他の質問

- 消費税減税、インボイス制度導入について

急激な物価高騰対策の支援について

市長 急激な原油価格、物価高騰による市内経済への影響が懸念される。各種の交付金補助金を活用し経済対策を実施

問.....

電気、ガス、食材料の値上げ分転嫁、保護者の学校給食への負担軽減は。

答 (市長) : 給食費に関して増額分の転嫁はせず、何らかの事情が生じた時、地方創生臨時交付金の活用や学校集金学校給食費の支援を行う。

問.....

18歳までの子供の医療費の助成、自己負担の全額支援拡充の考えは。

答 (市長) : 現在当市は厳しい状況、方向性をしっかりと議論すべきと思う。将来に向かい無償の話もしていく。



物価高騰により支援が必要な牧草地

小中学校英語学習、「体験の積み重ね」が必要ではないか

教育長 「コミュニケーションの本来の喜び」を経験させたい

現在の小中学校の英語活動と授業の様子を伺う。

問.....

新学習指導要領により、小学校3・4年生では週1回の英語活動が、5・6年生では週2回の教科書を使った英語の学習をしている。小中学校を通して「聞く、書く、話す」

答 (教育長) : 英語エキスパートの市民がいる。協力を頂き、ネイティブな英語学習と観光や伝統芸能、海外とオンラインで英会話、さまざまな体験の積み重ねで、子どもへの意欲を高めては。

のコミュニケーションの力を培う。

問.....

小中学校では児童生徒に本気で英語を使わせることを柱に取り組んでいる。児童生徒が本気で英語を伝えようとする場面を創出する場面は、ALTを定期的に派遣している。児童生徒が何度も繰り返しコミュニケーションを図るなかで気持ちや考えを相手に理解してもらおう「コミュニケーション本来の喜び」を味わわせることを大切にしたい。市民の力を借りることも大変良いこと、市内の人材発掘も心がけたい。



交流事業による英語コミュニケーション

問.....

子どもへの新型コロナウイルス感染を防ぎたい一方で、コロナワクチン接種後の副反応が心配で、悩んでいる方も多。接種の状況は。

答 (市長) : 接種効果と副反応の双方について、メディアやHPで情報がある。市内の各保育園、小学校を通じて、リーフレットを対象世帯に配布し、理解したうえで接種するように努めている。情報収集に注意を注いでいる。

問.....

未接種の子どもへ、接種の勧奨の計画は。

答 (市長) : 積極的に子どもへの接種を希望させる保護者もいる。市は強制せず、子どもの接種へ勧奨はしない。

親の心境は複雑、こどものコロナワクチン接種。市の勧奨は

市長 市は、勧奨しない

問.....

子どもの接種副反応について、学校などを通じての情報はありますか。

答 (市長) : 集団接種、個人接種、学校などを通じて副反応の情報は入っていない。

